

情報を見極める

形成外科・顎顔面外科学講座 力丸 英明

我々の毎日は情報に溢れている。毎日毎日、朝から晩まで、政治、経済、社会一般、健康、芸能、スポーツ、小説、音楽などに関する情報がいろいろな媒体から洪水のように押し寄せてくる。そして、その量はインターネットの普及によって無限大となった。必要なもの、有益なもの、素晴らしいもの、興味あるもの、どうでもいいもの、有害なものなどが脈絡もなく存在しカオス状態である。ボーとしていけば毎日大量の情報が目の前を通り過ぎていき、下手に取り込めばその情報の渦の中で溺れてしまう。しかし、本来情報とは、的確に取捨選択（セレクト）し知識としてインプットすることで、自分の仕事や生活に役立ったり、人生を豊かにしてくれたりするものである。考えてみれば、遠い昔は途方もない苦勞をして情報を得ていたのである。それが今では、小さなスマートフォンを一台持つことで、人類のあらゆる情報と知識そして英知を手中にしている。誰もが、ほとんど労力を要さずに今すぐその場で、知らないこと知り、知りたいことを知ることが可能となった。もはや情報や知識は、権力者や一部の限られた人だけのものではなくなった。情報に関して夢のような時代が始まっていることを感謝の意を込めて改めて認識しなければならない。しかし、情報を得るためにはどうしてもインターネットを駆使する必要がある。情報を得る機会はせっかく平等となったが、それを駆使する術を知らなければ、情報の格差が逆にどんどん広がっていく。その格差は、やがて貧富や権力の新たな格差へと繋がっていく。

このことは、医学の分野においても同様である。ほとんどの医学的情報や知識は、今や電子媒体を通じて入手され刷新されていく。誰でもインターネットを使って、必要な医学的情報や知識をすぐに入手することが可能である。そのため、ある最新の医学的知識に関しては医療関係者より一般の人々が詳しいことさえあり得る。医学的情報や知識も例外なく、大量の情報が凄まじい勢いで拡散されている。我々医療関係者は、せめて自分の専門分野の情報に関しては、インターネットを駆使して的確にセレクトし、インプット、アップデート、そしてアウトプットする能力を持たなければならない。図書館のホームページから必要とする文献を検索し、PDF という非常にコンパクトな形態で一瞬にして無数の文献を入手することが可能である。埃っぽい書庫で文献を見つけてコピーしていた時代とは隔世の感がある。大変便利な時代である。しかし、情報量がとてつもない。情報を見極める目が重要である。